

品人 店技

ファイル78
取材日H26.10.9

プロフィール

ひだ こうた
平田 孝太

生年月日：昭和49年3月1日
特技：ミシン
趣味：時代劇鑑賞
出身地：横手市



喫茶 ひらた

所在地：横手市旭川3-3-39
TEL:0182-32-1143
【創業】平成13年11月1日
【営業時間】11:30~17:00
【定休日】下1桁が1の付く日
【事業内容】飲食業(喫茶)



時の流れがゆるやかに感じられる「喫茶ひらた」。この店を母親と二人で切り盛りするかたわら、イベントの司会や演劇に取り組まれている平田孝太さん。今回は、横手のために精力的に活動する平田さんのエネルギーの源に迫りました。

お店はいつから始めたんですか。

創業して13年になります。この店は両親が始めたんですよ。

お店の営業に携わる前は何かされていたんですか。

店がオープンした当時は、病院で働いていました。大学時代は関東地方で過ごし、24歳のときに横手に戻ってきました。

今の仕事に本格的に携わるようになって2年目です。

病院勤めをやめて家業に入ったきっかけはなんですか。

終の仕事と思ってやっていたんですけどね。自分の能力を多方面で発揮したいと思ったのが一番の理由かな。あとは母の商売のことが、ずっと気がかりでしたしね。

そんなんですね。実際、今の仕事に就いてみてどうですか？

楽しいですね！うちの母親と父親が培ってきたものを引き継ぐということが嬉しいですし、常連さんにもすごく可愛がってもらっていますね。

最初の方はコーヒの淹れ方もわからなくてね。教わりに行ったら、2時間くらい練習で大丈夫だよって、えっと思って言っちゃいましたけど。コーヒって技術云々でなくて、知識なのかなって思いました。

誰でもできるように聞かせてしまいますよ。

そうですね。おいしいコーヒの淹れ方は、豆の特徴を知ること数をこなすことだと思えます。いくらコーヒが好きでも我々ほどは淹れてないでしょう。最近になってようやく納得できるコーヒが淹れられるようになりました。昔のコーヒは、いまいまだたらうに、文句

も言わずに通ってくれた常連さんに感謝しています。

楽しいーとおっしゃいますが、仕事で苦労されたエピソードはありますか？

ないですねー楽しいばかりです。お客さんと触れ合えることに喜びを感じています。店が雑誌で紹介されてお客さんが押し寄せた時は常連さんには申し訳ないなと思いましたが、そのときの一見さんにまた来店していただいたり、本当にありがたいですね。

お客さんには店にきてゆっくりしてもらいたいと思って営業しています。



▲落ち着いた雰囲気店内

確かにここにいると時間がゆっくり流れるような感覚になりますね。お店のオススメメニューはなんですか。

お薦めは、「懐かしの昭和のナポリタン」ですかね。

昔ながらの懐かしい味で、シンプルですけれど本当に美味しいですよ。あとは「表と裏御膳」もお薦めです。美味しいので、是非！

昔懐かしいナポリタン、いいですね。カフェではなく、まさに喫茶店という感じがします。それにしても、どのメニューも安いですね。

ホントはもう少し値段を上げたいんですけどね(笑)そこが店主である母のこだわりだと思いますよ。

ところで、平田さんには当所のにぎわいカーニバルの司会をしていただいています。司会をされるきっかけはなんだったんですか。

横手に戻ってきてからずっと演劇をやっている、ある人「演劇はセリフがあるけれど、司会はアドリブが多い。司会でアドリブを磨けば、演劇にも生きてくる」という話をされたのがきっかけです。

平鹿町のイベントが司会デビューでした。実際、司会をやって得たものは大きいです。自分の顔を覚えてくれる方も増



▲よこてマルシェにぎわいカーニバルでも司会をされています

えましたしね。平田さんは演劇もされているんですね。演劇を始めたのはいつからですか？

平成14年に横手市民会館で上演された市民創作ミュージカル「浪漫ラプソディ〜姫君の冒険〜」に出演したのがきっかけです。

それから演劇の楽しさにはまってしまっただけで、既存の地元劇団に入ろうと思っただけで、演劇の先輩たちから「今回の舞台に参加した若い人たちが新しい劇団を作った方がいい」とアドバイスをされたんです。そこで、参加した若い人たちで「劇団Hozzy and Nancy(ホージーアンドナンシー)」を結成しました。今年で11年目になるかな。実は、国民文化祭にも出演するんですよ。



▲一人芝居「蜘蛛の糸」の一場面

このイベントに参加するんですか。

10月19日に横手市民会館で行われる「後三年合戦シンポジウム」で後三年合戦のお芝居をやりませう。

歴史上の出来事をお芝居にするのは大変ではないですか。

後三年合戦は、「武将パフォーマー」清原紅蓮隊(きよはらくれんたい)としても関わっているのでもんな出来事だったかは知っていますが、衣装や道具をそろえるのは大変ですね。しかもほぼ全て手作り、夜なべをしながら裁縫しています。(泣笑)

本当ですか。それはスリイですね。「清原紅蓮隊」ってどんな団体なんですか。

「清原紅蓮隊」っていうのは、平安末期に横手で起きた「後三年合戦」をPRするための団体で、横手市さんからお声掛けいただいて結成したんです。結成したといってもメンバーはほとんど劇団員なんですけど、高校生も参加してくれています。音楽に合わせて、殺陣パフォーマンス



▲清原紅蓮隊で手作りの衣装を身に纏いながら

最後に今後の展望を教えてください。

演劇に関しては、横手でやる意味を追求していきたいです。横手は県内有数の演劇の街なんですけど、より一層、横手の地で演劇を身近なものにしたいです。あとは、若い人に演劇の楽しさを知ってほしいですね。自分たちも先輩の劇団の協力があるのがいいかな。

お店に関しては、ホントにお客さんにゆっくりして欲しいですね。ひっそりこっそりと営業していきたいです。